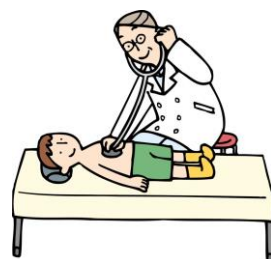


井上 勝六(いのうえ しょうろく)先生のプロフィール

- 勤務先 クリニックいのうえ
- 経歴 著作『生活習慣病と食養』(現代出版プランニング)
『脳で食べる』(丸善) 『食と健康の文化史』(丸善)
- 専門 胃腸科、外科



◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

二十数年前、ネフローゼの患者さんに柴苓湯を処方し、蛋白尿、浮腫が軽減した。

◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

- ・西洋薬治療に効果がない場合
- ・不定愁訴に有用

◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

50%くらいずつ

◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

互いの長所を認め合って、住み分けている。

◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なさったことがありますか

少陰の証だったのでしょう。麻黄附子細辛湯を服用すると、効果がありました。

◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

出来るだけ視野を広くして物事を眺めて下さい！

◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

漢方神話にのめり込まないように

◆座右の銘、お好きな言葉などありましたら教えてください

適当



注意:先生へのインタビューは、当会が2010年2月に行った内容です。